

令和7年コウナゴ曳網調査結果 (第1報)

令和7年1月23日
福島県水産海洋研究センター

1 調査日

令和7年1月21日

2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 9m)、141-02.5E(水深 25m)
141-05E(水深 33m)、141-07.5E(水深 37m)
141-10E(水深 38m)、141-12.5E(水深 43m)
141-15E(水深 55m)、141-17.5E(水深 63m)

3 調査手法

丸稚ネット(魚捕部の目合い 335 μ m)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 5 分間曳網(船速 約 2kt)

4 調査結果

(1)表面水温(図 1)

12.3 $^{\circ}$ C~15.6 $^{\circ}$ C

(2)コウナゴ採捕数(図 1)

一番灘の定点にてコウナゴが 1 尾、採捕されました。全長は 4.3mm でした。

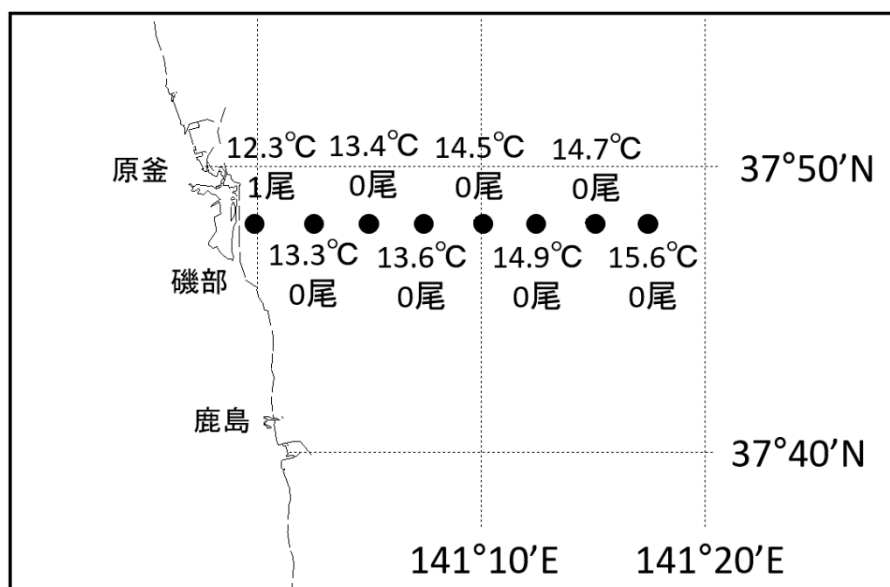


図1 コウナゴ採捕数

(3)過去の調査結果との比較(図2)

1 定点あたりのコウナゴ採捕数は平成30年以降、極めて少ない状況が続いています(図2)。福島県の年別コウナゴ漁獲量を図3に示します。令和元年以降、漁場が形成されないことから、操業は行われていません。

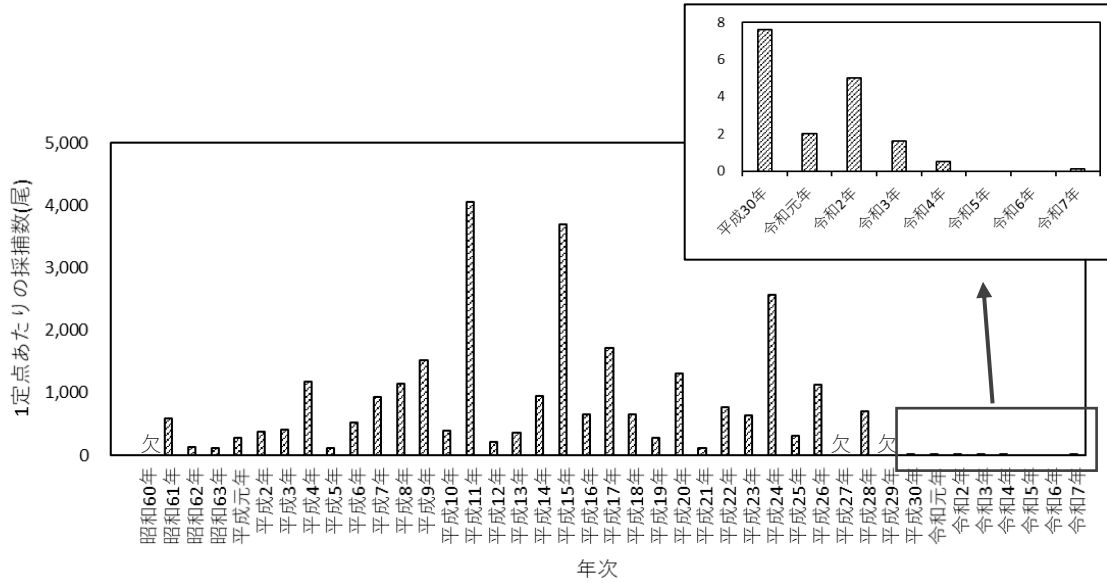


図2 相馬海域における1定点あたりの採捕数(1~2月平均)

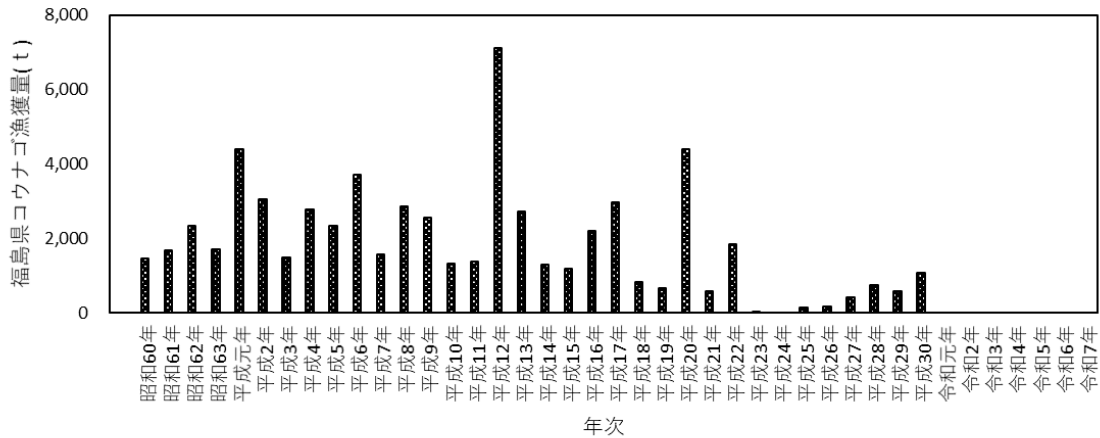


図3 福島県の年別コウナゴ漁獲量